



## ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）を通して

日本の2連覇という素晴らしい結果で幕を閉じたWBC。終了してから1ヶ月以上が経過した。大会を通じて多くのことを目の当たりにし、多くの事を感じた。あの天才と言われるイチローが不振に苦しむ姿。イチローの「心が折れそうでした。」というインタビューを聞いて本当に驚いた。日米プロ野球通算3000本以上の安打を打ち、日本プロ野球で入団3年目で初の首位打者（打率1位）を獲得後、7年連続の首位打者に輝き、2001年にアメリカのメジャーリーグ・シアトルマリナーズに移籍し、1年目に首位打者獲得、8年連続の年間200本安打以上のメジャーリーグ記録タイを打ち立てた世界のイチローである。

イチローから学ぶことは多いが、そのひつに「ルーティン」がある。「ルーティン」とは日常の決まりきった日課や仕事のことである。イチローは打席前でストレッチを行い、大きく素振りを行い、打席内で大きくバットを縦に構え、投手に向けてバットを差し出す。この動きを毎打席（約9000打席以上）続けている。イチローのルーティンはこれだけではない。渡米してから9年間、同じ時間に起きて、昼食で毎日カレーを食べてから球場に向かう。イチローの言う「ルーティンの大切さ」は「無駄を省く」ことにある。朝起きて、最初に何をしようかな？、朝食は何を食べようかな？と考えることが無駄。大切なこと（高校生にとっては勉強であり、部活動であり・・・）に全身全霊でのめりこむために、ほかの事は決められた通りにこなすだけ。本当にすごい人です。

年間最多安打262本を記録したとき、「どうすれば262本のヒットが打てるのでしょうか？」の問いかけに、イチローは「1本1本のヒットを積み上げていくしか方法はありません。」と答えた。「何をわかり切ったことを言っているのか」と言う人もいると思うが、まさにその通りである。毎日同じ「ルーティン」をこなせる精神力の強い人だけが、大切なことに集中して取り組み、結果を残しているのでしょう。いくらなんでも毎日カレーはきついが、朝起きて、顔洗って、朝食を食べて、制服に着替えて、決まった時間に家を出る。それぐらいはできそう。

急に足が速くなるわけもない、急に数学ができるようになるわけもない、そんな都合の良い話はなく、努力した分だけ結果にあらわれる。しかもその結果は直ぐに出ることはまれで、忘れたころにあらわれる。諦めなければ結果は必ずでる。その結果がでるまでやり続けられるかが勝負だ。 頑張れ日南高校生！！

2年2組副担 T.H.

## 週行事予定表（5 / 11 ~ 5 / 24）

月	日	曜	行事予定	課外	備考
5	11	月		×	
	12	火	各種委員会	×	
	13	水	中間考査（数学前半・英語・生物）	×	
	14	木	中間考査（地歴B・数学後半・古典）	×	
	15	金	中間考査（現代文・総合英語（自習）・ライティング）	×	
	16	土			
	17	日			
	18	月		A	7:25登校 7:30課外始
	19	火	内科検診（1～3組）	A	7:25登校 7:30課外始
	20	水	高校総体壮行式・内科検診（4・5組）	A	7:25登校 7:30課外始
	21	木	耳鼻咽喉科検診（希望者）	A	7:25登校 7:30課外始
	22	金	職員会議（16:00～）	A	7:25登校 7:30課外始
	23	土		×	
	24	日		×	

5 / 15（中間考査最終日）は服装容儀検査になっています。不合格にならないようにしましょう。